

056

フードトラックによる「食」の被災地復興支援

取組主体

ロイヤルホールディングス株式会社

従業員数

2,686 人

想定災害

地震等

実施地域

広島県/岡山県

- ・ 自社の強みを活かし、被災地へ美味しい食事を短時間で提供できるフードトラックを整備。
- ・ 震災復興イベントでの食事の提供等を通じ、被災者との交流を深めている。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

被災地で美味しい食事を素早く提供

- ・ 外食事業等を展開するロイヤルホールディングス株式会社は、自社の強みである調理済み品の冷凍技術、セントラルキッチンでの加工技術及び機内食の調理技術を活かし、被災地に迅速かつ少人数で食事を提供できるフードトラック支援体制を整えた。



提供する食事の例



トラック内部の様子

- ・ 同社は、東日本大震災や熊本地震の際に被災地で炊き出しを実施したが、現地で下ごしらえから配膳までの全工程を行い、できたてを提供したため多くの人員を必要とした。また、調理や配膳に必要な物品すべてを持ち込んで活動したため、材料や人員に加え、調理機器の調達にも時間を要した。これらの課題を解決するため、平成 30 年に災害対応プロジェクトを発足し、迅速かつ少人数で食事を提供できるフードトラックを活動の中心と位置づけ、平成 31 年 4 月にこれを完成させた。
- ・ 同社のフードトラックは自動車による飲食店営業許可を受けられる仕様となっていることから、生活インフラが整っていない避難所に訪問することができるほか、1 時間あたり約 700 食を提供できるため、大規模避難所においても 1 台で対応することができる。また、同社の食品工場で調理・冷凍した食品を活用するため、衛生面も保証された温かくて美味しい食事を提供することができる。
- ・ 令和元年 6 月と 7 月には、平成 30 年 7 月豪雨で被災した広島県呉市及び岡山県倉敷市の復興イベントへ参加した。同地域では、災害から 1 年を経過しても自宅に戻れず仮設住宅で生活している住民も多く、同社は、フードトラックで温かい食事を届けることで、被災者との交流を深めた。



広島県呉市における食事提供の様子

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- ・ 同社は、いつ災害が起こってもフードトラックで駆けつけられるよう、定期的な車体及び厨房機器のメンテナンスを欠かさずに行っている。また、復興イベント等にも積極的に参加し、「食」を通じた社会貢献を継続している。

3 現状の課題・今後の展開等

- ・ 同社は、発災時の支援実施までのプロセスを簡略化し、迅速に行動できるよう体制を整える方針である。

担当者の声

- ・ 今後も「安全・安心」「高品質な商品」「心の通うホスピタリティ」をキーワードとし、地域の絆が深まるように「食」を通じた社会貢献を継続していきます。

問合せ先

ロイヤルホールディングス株式会社 法人番号：2290001017525
TEL：03-5707-8852 FAX：03-5707-8860 E-Mail：koho@royal.co.jp